

財団法人 日本サッカー協会

平成 19 年度 第 8 回理事会

## 報告事項

## 1. TOYOTA プレゼンツ F I F Aクラブワールドカップ ジャパン 2007の件

## I. 大会スケジュール

## ※ (報告) 資料No.1

## II. F I F Aデレゲーション

F I F A会長	ジョセフ・S・ブラッター	
F I F A事務総長	ジェローム・バルク	
F I F A理事会		23名
F I F A F C W C組織委員会		15名
大陸連盟事務総長		5名
チーム所属F A会長		4名
国際サッカー評議会		4名
F I F A審判委員会		7名
F I F Aスポーツ医学委員会		2名
F I F A懲罰委員会		3名
ジェネラルコーディネーター		2名
アシスタントジェネラルコーディネーター		2名
F I F A T S Gグループ		2名
F I F Aメディアオフィサー		4名
セキュリティオフィサー		1名
F C W C組織委員長補佐		1名
F I F A事務局		38名
その他		29名 等

総数 約 145名

## 2. A F Cプロリーグプロジェクトの件

## I. A F Cプロリーグプロジェクトインスペクション総括について

## 1. 日程 (インスペクション21協会/ミーティング1協会)

4月13日-17日：香港	4月17日-22日：UAE	4月22日-26日：オマーン
4月26日-29日：バーレーン	5月9日-15日：中国	5月18日-24日：韓国
5月23日-6月1日：日本	6月4日-9日：シンガポール	6月9日-14日：マレーシア

8月3日-8日：ベトナム    9月4日-12日：オーストラリア    9月13日-17日：ウズベキスタン  
9月17日-24日：イラン    9月24日-10月1日：サウジアラビア    10月1日-4日：ヨルダン  
10月4日-10日：シリア    10月16日-19日：インドネシア    10月19日-25日：タイ  
10月25日-29日：カタール    10月26日：イラク(ミーティング)    10月29日-11月3日：クウェート  
11月3日-9日：インド

### 2. インспекションを通じての主なポイント(アジアの共通課題)

- 1) 適格なチケット価格の設定と入場者数/チケット収入増加の必要性  
\*特に西側諸国の女性/子供の入場者対応
- 2) テレビ放映権料の拡大の必要性
- 3) セントラライズマーケティングシステムの構築の必要性
- 4) クラブ財政の透明化と収支報告の必要性
- 5) プロとしてのクラブ経営の必要性  
\*補助金/寄付金等のみに頼らぬ、観客数/入場料とサッカーにおけるマーケティングによる法人としての経営
- 6) リーグ統括機構の法人化と運営の必要性
- 7) 競技運営のレベルアップの必要性

### 3. 新ACLに対する主な意見・要望

- 1) 交通費・宿泊費の実費負担(現状はアウェイでどこの国に行っても同一の補助金2万ドルのみ)
- 2) 実費以外の補助金/賞金の増額(現状は1位賞金60万ドル・2位賞金40万ドルのみ)
- 3) グループステージ2位までのノックアウトステージ進出(現状は1位のみ進出)
- 4) アウェイでの処遇改善(空港からの距離・ホテル・練習場・スタジアム・競技運営等)
- 5) ホスト国/クラブへの一定のマーケティング権の付与(現状は一切なし)
- 6) スケジュールの再検討(西側諸国のシーズンが2つに跨る問題・過密日程等)
- 7) 外国人枠増加の検討(現状は3人登録・3人出場)

## II. 第5回 AFC プロリーグ特別委員会について

2007年11月28日に第5回AFCプロリーグ特別委員会がオーストラリアで開催され、以下の事項が決定・協議された。翌日11月29日に行われたAFC理事会において、委員会決定事項が承認された。

### 1. 活動報告

インспекションが終了し、その活動・レポート・総括の報告があり、委員会により確認された。

### 2. 決定事項

- 1) FIFA クラブライセンス

新ACLの参加基準の前文に“FIFA クラブライセンスを包括的に使用する”という一文を記

載することが決定した。

### 2) 国際レフェリー

国際レフェリーの人数の参加基準については、現状の人数通り、国際レフェリー6名・国際アシスタントレフェリー8名とすることが再確認された。

### 3) クラブの商業的法人

全てのクラブは、参加基準に則り、商業的法人でなければならないことが再確認された。但し、移行への時間的猶予については、検討することとした。

### 4) コーチライセンス

参加基準になっているコーチ資格について、全てのクラブの監督は、AFCプロディプロマライセンスまたは、同等のライセンスを取得しなければならないことが再確認された。但し、以下の点については、考慮されることとなった。

①2010年までは、AFC Aライセンスを最低基準とする。

②2017年までに、AFCプロディプロマライセンスを取得する。

③2009年・2010年に関しては、AFCの基準に適うプロコーチに適正認証を付与する。

④加盟協会は、必要なコーチングコースを開催し、AFCプロディプロマライセンス取得者を増加させる。または、AFCプロディプロマライセンスと同等のライセンス制度を策定し、AFCの承認を得る。

### 5) 参加協会・クラブ

現状では、どの加盟協会も参加基準を満たしていないことが報告された。

今後のステップは、以下の通りとすることが確認された。

①2007年12月に21協会へ現状評価を報告する。

②2008年3月までに追加情報を収集する。

③2008年4月に選定した協会（カテゴリーA・B・Cのみ）に対して最終インスペクション／ミーティングを行う。

④2008年5月の委員会にて最終報告及び決定を行う。

### 6) 10の評価項目/評価計算方法

10の評価項目の比重を下記の通りとし、合計500ポイントとすることが決定した。

➤ 100ポイント : 競技力・入場・ビジネススケール

➤ 50ポイント : 統治/健全性・クラブ

➤ 20ポイント : 組織・マーケティング/プロモーション・試合運営・メディア・スタジアム

### 7) 参加協会/クラブ数の見直し期間

2009年-2010年の2年間を固定し、その後また2年間の決定を行うことが承認された。

### 3. 協議事項

#### 1) 最終評価

プロリーグの定義・プロクラブの定義・参加基準を満たした協会が新ACLに参加できることが確認された。参加クラブ数については、評価ポイント及びカテゴリーにより決定されることが確認された。尚、参加クラブ数決定の際には、自国のリーグのチーム数も考慮する。(最大1/3ないし1/4)

#### 2) 大会フォーマット

全ての国のリーグスケジュールを統一することは、難しいことが説明され、2009年からの新ACLは、2月～11月までに開催されることが再確認された。

決勝戦は、ニュートラルベニューにて1試合行われ、ベニューの決定方法については、次回委員会で協議することとなった。

#### 3) 分配金

分配金に関する2案(TVプール導入案・一律賞金案)について、引き続き協議することが確認された。

#### 4) ブランディング

ブランドとプロモーションについて、AFC事務局から報告がなされた。また、各国のテレビマーケットの拡大については、今後WSGとの協働が必須であることが確認された。

### 4. 関連事項

#### 1) セミナー/ワークショップ

クラブ経営と競技運営のレベルアップのため、GMセミナー/資格付与およびMC/GCセミナーの開催の必要性が確認され、具体的計画を策定することとなった。

#### 2) 今後の予定

次のミーティングは、2月の最終週となることが確認された。

### 3. AFC女子アワード2007の件

11月6日マレーシアにてAFC女子アワード2007が開催され、日本関連の受賞は以下の通り。

最優秀協会賞

JFA

### 4. AFCアワード2007の件

11月28日オーストラリアにてAFCアワード2007が開催され、日本関連の受賞は以下の通り。

最優秀クラブチーム	浦和レッドダイヤモンズ
フェアプレー賞	J F A

#### 5. AFC チャンピオンズリーグ 2008 出場クラブの件

AFC チャンピオンズリーグ（以下ACL）2008 には、ACL 2007 で優勝した浦和レッズも出場権を得、以下の3チームが出場する。

浦和レッズ	（ACL 2008 優勝：ノックアウトステージより参加）
鹿島アントラーズ	（2007 Jリーグ優勝）
ガンバ大阪	（第86回(2006)天皇杯準優勝）

グループステージの組合せ抽選会は、12月17日（月）マレーシアにて行われる。

#### 6. AFC理事会 報告の件

11月29日にAFC理事会がオーストラリアにて開催された。主な決定事項は以下の通り。

##### ■ 女子競技会

- ・2009年より、女子チャレンジカップが女子アジアカップの予選になる。

##### ■ 審判

- ・エリートレフェリーの地域別割り当てを廃止する。
- ・エリートフットサルレフェリーパネルを創設し、20名とすることとした。

##### ■ フットサル

- ・FIFAフットサルワールドカップ ブラジル 2008 のアジア枠は4となり（前回2004大会は3）、AFCフットサル選手権 2008 の予選大会のフォーマットを決定した。12チームが4チームずつ3グループに分かれ、各グループの1位とベスト2位がAFCフットサル選手権 2008 への出場権を得る。予選大会の開催国はマレーシアに決定した。
- ・AFCフットサル選手権 2008（開催国はタイ）の日程を、2008年5月11日から18日とした。

##### ■ プロリーグ特別委員会

- ・AFCプロリーグ特別委員会は、2009からの新AFCチャンピオンズリーグ参加条件の全基準を満たす加盟協会は今のところないとし、各協会へのさらなる改善への努力を促した。最終決定と確認は2008年5月に行われる。

##### ■ チャレンジカップ 2008

- ・開催国として決定していたチャニーズ・タイペイは、AFC大会基準に合った施設の提供を保証できないとし、タイが開催国となることとした。

##### ■ U-16 選手権 2008

- ・9加盟協会から10名の選手が、オーバーエイジであることが発見され、更なる調査をしていくこととした。もし、違反が確認されれば、規定に基き規律処分が下される。

- ・ 今後のU-16・U-19 最終予選は、最終予選に進出した協会のみが開催国となる資格を有するととした。

■ プレジデントカップ 2008

- ・ トルクメニスタン、バングラデシュ、ミャンマーのチームの参加が認められた。

■ アジアカップ 2011/2015

- ・ アジアカップ 2011 の開催国はカタールに決定しているが、カタールがホストできない場合のためオーストラリアがバックアップベニューとすることを決定した。
- ・ アジアカップ 2015 の開催国への立候補の第 1 回聞き取りは 2008 年 3 月に行われることに決定した。

■ 不服申立の結果

- ・ アジアカップ 2007 で、エキップメント規約に違反したサウジアラビア協会とバーレーン協会に対する罰金を、US \$ 10,000 に減額した。

7. AFC 会議の件

11 月に開催された AFC 各種委員会への委員出席者は以下の通り。

11 月 6 日	女子委員会	今井技術部テクニカルハウス
11 月 27 日	審判委員会	上川トップレフェリーインストラクター
	技術・ヴィジョンアジア委員会	今井技術部テクニカルハウス
11 月 28 日	フットサル委員会	小倉副会長
	プロリーグ特別委員会	鈴木キャプテン特命担当本部長
	競技会委員会	小倉副会長
11 月 29 日	理事会	小倉副会長

8. ヴェトナム女子代表 日本キャンプ [アジア貢献事業] の件

SEA Games 2007 の準備のため来日し、11 月 11 日(日)～17 日(土) J-Village でキャンプを実施した。

[練習試合結果]

11 月 13 日	ヴェトナム女子代表 vs JFA アカデミー福島(中学 1 年生)	0-6 (0-3)
11 月 14 日	ヴェトナム女子代表 vs JFA アカデミー福島女子	1-1 (0-1)
11 月 15 日	ヴェトナム女子代表 vs マリーゼ	1-1 (30 分 x 3)

※ SEA Games とは、東南アジア 11 カ国が参加する大会。2 年毎に開催する。

SEA Games 2007 は 12 月前半タイで開催される。

9.	<p>チャイニーズ・タイペイ協会主催 コーチングコースへのインストラクター派遣 [アジア貢献事業] の件</p>
<p>チャイニーズ・タイペイ協会からの要請を受け、以下のコースにインストラクターを派遣する。 (往復航空券代・現地宿泊/食費・日当は全てチャイニーズ・タイペイ協会が負担する)</p> <p>1. GK コーチングコース 柳楽雅幸氏 (ナショナルトレセンコーチ/横浜F・マリノス) 12月3日～12月5日 (3日間)</p> <p>2. フィットネス コーチングコース 広瀬統一氏 (フィジカルフィットネスプロジェクト メンバー/早稲田大学) 12月22日～12月24日 (3日間)</p>	
10.	<p>大会役員・審判員 国際試合派遣の件</p>
<p>① Futsal Referees Course インストラクター：松崎康弘 期 間：11月16日 (金) ～22日 (木) 場 所：モルジブ</p> <p>② 2010 FIFA World Cup South Africa – Preliminary Competition Round 2 タイ対イエメン 審判員：松村和彦、相楽 亨、名木利幸 期 間：11月16日 (金) ～19日 (月) 場 所：タイ</p>	
11.	<p>アンチ・ドーピング特別委員会 メンバーの件</p>
<p>第7回理事会において承認されたアンチ・ドーピング特別委員会について、以下の通りメンバーが決定した。</p> <p>委員長 本林 徹 (JFA裁定委員長) 委 員 河野 一郎 (日本アンチドーピング機構 理事長、医学博士) 河野 照茂 (JFAドーピング・コントロール小委員会 委員長) 池田 正利 (JFA法務部会員、規律・フェアプレー委員) 小竹 伸幸 (JFA法務部会 副部長、規律・フェアプレー委員) 田嶋 幸三 (JFA専務理事、規律・フェアプレー委員) 原 秋彦 (JFA法務部会員、CAS仲裁人) 浅見 俊雄 (JFA顧問、規律パネル (JADA関連) 委員長) 幹 事 福井 一也 (JFA総務部長)</p>	

窪田 慎二（Jリーグ リーグプロデュースグループ アシスタントマネージャー）

12. ドーピング・コントロール小委員会 メンバーの件

第7回理事会において承認されたドーピング・コントロール小委員会について、以下の通りメンバーが決定した。

委員長 河野 照茂（聖マリアンナ医科大学）  
 委員 山下 文治（京都下鴨病院）  
 西尾 真友（金沢医科大学）  
 樋渡 正夫（国際医療福祉大学）  
 植木 真琴（三菱化学メディエンス(株)）  
 土肥美智子（国立スポーツ科学センター）  
 矢地 孝（志成会 ロイヤルドッククリニック）  
 森川 嗣夫（JFE健康保険組合 川崎製鉄千葉病院）  
 幹事 松田 薫二（JFA技術部長）  
 窪田 慎二（Jリーグ リーグプロデュースグループ アシスタントマネージャー）  
 岡田真木子（JFA技術部）

13. FIFAメディカルセンター川崎の件

※（報告）資料No.2 ①②

FIFAスポーツ医学委員会の活動の一環であるF-MARCの活動として、世界の数箇所をサッカー医学の研究、診療拠点として指名、承認し、サッカー医学の普及を図る。その日本の拠点としてFIFAスポーツ医学委員長より依頼を受け、応募し、下記のとおり承認された。

承認機関： 聖マリアンナ医科大学  
 認定書授与式： 12月14日（金）詳細未定  
 FIFAスポーツ医学委員会のミッシェル・ドッグ委員長 視察を兼ね来院

14. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）の件

<更新>

1. 公認申請者：特定非営利活動法人新潟スポーツコミュニティ（新潟県）  
 施設名：新潟聖籠スポーツセンター ピッチE（新潟県・聖籠町）  
 施設所有者：特定非営利活動法人新潟スポーツコミュニティ 小泉正博  
 ロングパイル人工芝：ハイブリットターフ（LP-50）/SRIハイブリット(株)  
 公認日：平成19年12月16日～平成22年12月15日



公認番号：第6号

<特記事項>

- ◆ 公認規程に基づき1回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公認申請者：特定非営利活動法人新潟スポーツコミュニティ（新潟県）  
 施設名：新潟聖籠スポーツセンター ピッチF（新潟県・聖籠町）  
 施設所有者：特定非営利活動法人新潟スポーツコミュニティ 小泉正博  
 ロングパイル人工芝：ハイブリットターフ（LP-50）/SRIハイブリット®(株)  
 公認日：平成19年12月16日～平成22年12月15日  
 公認番号：第7号

<特記事項>

- ◆ 公認規程に基づき1回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

15. 競技会開催申請・名義使用申請の件

【競技会開催申請】

- (1) 申請団体：(財)埼玉県サッカー協会  
 大会名：第14回熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ“2008”」  
 主催：(財)日本サッカー協会、(財)埼玉県サッカー協会、熊谷市、熊谷市教育委員会  
 主管：熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ」実行委員会  
 後援：(申請予定)毎日新聞社、埼玉県、(財)埼玉県体育協会 他  
 期日：2008年3月25日(火)～29日(土)  
 会場：熊谷市利根川総合運動公園サッカー場、熊谷市妻沼運動公園  
 参加チーム：48チーム予定  
 試合の種類：無料試合
- (2) 申請団体：(財)福島県サッカー協会  
 大会名：第4回全国ガールズ8（U-12）サッカーフェスティバル  
 ～Jヴィレッジなでしこカップ～  
 主催：(財)福島県電源地域振興財団、(株)日本フットボールヴィレッジ  
 主管：(財)福島県サッカー協会  
 後援：(財)日本サッカー協会、福島県  
 期日：2008年2月9日(土)～11日(月)  
 会場：Jヴィレッジ  
 参加チーム：32チーム予定  
 試合の種類：無料試合

【国際競技会開催申請】

- (1) 申請団体：(財)岡山県サッカー協会  
 大会名：晴れの国 岡山KOREA・JAPANシニアサッカーWING CUP  
 主催：(財)岡山県サッカー協会  
 共催：在日本大韓体育会 中国本部  
 特別協賛：ウインググループ  
 協賛：栄光グループ  
 期日：2007年12月15日(土)～16日(日)  
 会場：岡山県補助陸上競技場  
 参加チーム：4チーム  
 試合の種類：無料試合

【名義使用申請】

- (1) 申請団体：(社)日本プロサッカーリーグ  
 大会名：城彰二氏引退試合  
 主催：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ  
 主管：(社)神奈川県サッカー協会、(社)横浜サッカー協会、(株)横浜フリエススポーツクラブ  
 後援：未定  
 協力：未定  
 協賛社：未定  
 日時：2008年1月27日(日) 15:00 キックオフ (予定)  
 会場：三ツ沢公園球技場  
 対戦カード：03-06 横浜FC オールスター(仮) 対 J0 Friends(仮)

16. 海外遠征申請の件

- (1) (社)大阪府サッカー協会  
 チーム STAYCOOL FC (第4種)  
 遠征期間 2007年11月26日(月)～12月1日(土)  
 遠征先 アメリカ合衆国 グアム

17. U-22 日本代表北京オリンピック 2008 アジア最終予選の件

- 1) 行事名：U-22 日本代表北京オリンピック 2008 アジア最終予選 ベトナム戦 (アウェイ)  
 期間：2007年11月12日(月)～18日(日)  
 場所：東京都

[スケジュール]

11月12日(月) 集合後トレーニング、ベトナムへ向け出発  
 13日(火) トレーニング  
 14日(水) トレーニング  
 15日(木) トレーニング  
 16日(金) 公式練習  
 17日(土) 19:15 MyDinh Stadium vs U-22 ベトナム代表  
 試合終了後、チャーター機にて帰国

[スタッフ]

団 長 : 大仁 邦彌 ((財)日本サッカー協会副会長)  
 監 督 : 反町 康治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)  
 コーチ : 井原 正巳 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)  
 コーチ : 江尻 篤彦 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ/アルビレックス新潟)  
 フィジカルコーチ : 矢野 由治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)  
 GKコーチ : 川俣 則幸 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)  
 ドクター : 土屋 敢 (川鉄千葉病院)  
 アスレティックトレーナー : 並木磨去光 ((財)日本サッカー協会/スポーツマッサージナスター)  
 アスレティックトレーナー : 山崎 亨 ((財)日本サッカー協会/横浜リゾート&スポーツ専門学校)  
 総務 : 平井 徹 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)  
 メディアオフィサー : 福士一郎太 ((財)日本サッカー協会広報部)  
 テクニカルスタッフ : 菅原 大介 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)  
 キットマネージャー : 服部 智博 (アディダスジャパン(株))  
 輸送担当 : 瀧森 誠 (西鉄旅行(株))

[選手]

未 定

2) 行事名 : U-22 日本代表北京オリンピック 2008 アジア最終予選 サウジアラビア戦 (ホーム)  
 期 間 : 2007年11月18日(日)~11月21日(水)  
 場 所 : 東京

[スケジュール]

11月18日(日) 帰国後、トレーニング  
 19日(月) トレーニング  
 20日(火) 公式練習  
 21日(月) 19:20 国立競技場 vs U-22 サウジアラビア代表  
 試合終了後、解散

[スタッフ]

監督 : 反町 康治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)  
 コーチ : 井原 正巳 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)  
 コーチ : 江尻 篤彦 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ/アルビレックス新潟)  
 フィジカルコーチ : 矢野 由治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)  
 GKコーチ : 川俣 則幸 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)  
 ドクター : 土屋 敢 (川鉄千葉病院)  
 アスレティックトレーナー : 並木磨去光 ((財)日本サッカー協会/スポーツマッサージナース)  
 アスレティックトレーナー : 山崎 亨 ((財)日本サッカー協会/横浜リゾート&スポーツ専門学校)  
 総務 : 平井 徹 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)  
 メディアオフィサー : 福士一郎太 ((財)日本サッカー協会広報部)  
 テクニカルスタッフ : 菅原 大介 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)  
 キットマネージャー : 服部 智博 (アティダスジャパン(株))  
 輸送担当 : 瀧森 誠 (西鉄旅行(株))

[選手]

未定

18. エリートプログラムトレーニングキャンプの件

行事名 : JFAエリートプログラム ～JOC日韓競技力向上スポーツ交流事業～  
 期間 : 2007年11月28日(木)～12月2日(日)  
 場所 : Jヴィレッジ

[スケジュール]

11月28日(木) 集合・トレーニング  
 11月29日(水) AM トレーニング・PM トレーニングマッチ (vsJFAアカデミー福島)  
 11月30日(木) AM トレーニング・PM 親善試合 U-13エリートプログラムvsU-13 韓国代表、  
 コミュニケーションスキル  
 12月1日(土) AM トレーニング・PM トレーニング  
 12月2日(日) AM トレーニング、親善試合 U-13エリートプログラムvs 対U-13 韓国代表・解散

[スタッフ]

U-14 監督 : 吉武 博文 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ)  
 U-14 コーチ : 星原 隆昭 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ)  
 U-13 監督 : 足達 勇輔 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ)  
 U-13 コーチ : 木村 康彦 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ)  
 GKコーチ : 浅野 寛文 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ/FC 東京)

ドクター : 井澤 敏明 (福岡赤十字病院)  
 テクニカルサポート : 小林 大輔 (筑波大学)  
 総務 : 亀井 拓夫 ((財)日本サッカー協会 技術部)

## [選手]

U-14 GK 田尻 健 (ガンバ大阪ジュニアユース)  
 中島 宏海 (筑陽学園中学校)  
 矢島 倫太郎 (浦和レッドダイヤモンズジュニアユース)  
 松岡 賢良 (高田フットボールクラブU-15)  
 丸岡 昌平 (星稜中学校)  
 小針 優貴 (ACNジュビロ沼津)  
 西野 拓麻 (ガンバ大阪ジュニアユース)  
 田鍋 陵太 (三菱養和サッカークラブ 巣鴨ジュニアユース)  
 前田 匠 (岡山市立西大寺中学校)  
 越後 雄太 (ベガルタ仙台ジュニアユース)  
 津川 暢彰 (あつまスポーツクラブ U-15)  
 山千代 大斗 (ガンバ大阪ジュニアユース)  
 桑島 昂平 (徳島ヴォルティスジュニアユース)  
 舘野 俊祐 (SQUARE 富山 FC Jr.)  
 宮本 拓弥 (柏レイソルU-15)  
 真辺 博也 (佐川町立佐川中学校)  
 原川 力 (レオネ山口 U-15)  
 比嘉 龍一 (読谷村立読谷中学校)  
 上原 大明 (読谷村立読谷中学校)  
 知念 雄太朗 (ウイザーレ沖縄 FC・ジュニアユース)

U-13 GK 中村 航輔 (柏レイソルU-15)  
 齋藤 賢太 (浦和レッドダイヤモンズジュニアユース)  
 中村 真輔 (岩田 FC)  
 早川 史哉 (アルビレックス新潟ジュニアユース)  
 中川 雄貴 (コンサドーレ札幌ユースU-15)  
 山田 融 (横浜 F・マリノスジュニアユース)  
 鈴木 隆雅 (FC 宮城ハルセロナ)  
 込山 雄奨 (フォルトゥナサッカークラブ)  
 藤本 心 (シーガルフットボールクラブジュニアユース)  
 徳永 裕大 (ガンバ大阪ジュニアユース)  
 高良 宥輔 (ウイザーレ沖縄 FC・ジュニアユース)  
 宮村 緯 (ジュビロ磐田ジュニアユース)  
 小峯 洋介 (浦和レッドダイヤモンズジュニアユース)  
 楠美 圭史 (東京ヴェルディ1969ジュニアユース)

武井 謙介 (FC東京 U-15 むさし)  
 紫尾 和真 (ガンバ大阪ジュニアユース)  
 神田 夢実 (コンサドーレ札幌ユースU-15)  
 石毛 秀樹 (清水エスパルスジュニアユース)  
 新井 純平 (浦和レッズアカデミーユース)  
 前川 聖也 (黒髪フットボールクラブ)

計 40 名

19. U-17 地域対抗戦 2007 の件

行事名：U-17 地域対抗戦 2007

期 間：2007 年 12 月 18 日(火)～20 日(木)

場 所：静岡県時之栖スポーツセンター 裾野グラウンド

参加地域：北海道・東北・関東・北信越・東海・関西・中国・四国・九州

(各地域 選手 20 名・スタッフ 3 名)

[スケジュール]

12 月 18 日(金) 集合・試合

12 月 19 日(土) 試合

12 月 20 日(日) 試合・解散

20. U-16 日本女子代表(U-17 女子ワールドカップ 2008) トレーニングキャンプの件

行事名：U-16 日本女子代表(U-17 ワールドカップ 2008) トレーニングキャンプ

期 間：2007 年 11 月 23 日(金・祝)～28 日(水)

場 所：静岡県磐田市

[スケジュール]

11 月 23 日(金・祝) 集合

| トレーニング

11 月 28 日(水) 解散

[スタッフ]

監督 : 吉田 弘 ((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 坂尾 美穂 ((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ/JFAアカデミー福島)

GKコーチ : 川島 透 ((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)

ドクター : 小松 奈美 ((財)弘潤会 野崎東病院)

アスレティックトレーナー : 中堀 千香子 (JFAアカデミー福島)

総務 : 山田 薫 ((財)日本サッカー協会 代表チーム部)

[選手]

GK	武仲 麗依	(FC VICTORIES/稲美町立稲美中学校)
	中村 沙樹	(JFAアカデミー福島/榎葉町立榎葉中学校)
	池田咲紀子	(浦和レッズジュニアユースレディース/さいたま市立東浦和中学校)
DF	屋田 渚	(神村学園高等部)
	石田みなみ	(常葉学園橘高等学校) ※追加招集
	千葉 望愛	(浦和レッズジュニアユースレディース/白梅学園高等学校)
	西山 衣美	(名古屋FCレディース/至学館高等学校)
	遠藤 理江	(大和シルフィード'98/松田町立松田中学校) ※体調不良の為、参加辞退
	小野田莉子	(クラブフィールズ リンダ/札幌市立上野幌中学校)
MF	堰 愛季	(苗代レディースフットボールクラブ/北陸大谷高等学校)
	岸川奈津希	(日テレ・メーナ/相洋高等学校)
	竹山 裕子	(浦和レッズジュニアユースレディース/埼玉県立伊奈学園総合高等学校)
	渡井 汐莉	(鳳凰高等学校)
	高橋 彩織	(日テレ・メーナ/藤村女子高等学校)
	藤田のぞみ	(日ノ本学園高等学校)
	大島茉莉花	(神村学園中等部)
	柴田 華絵	(神村学園中等部)
	高野 紗希	(FCウエーリア/高槻市立第九中学校)
FW	吉岡 圭	(FC VICTORIES/兵庫県立吉川高等学校) ※学校行事の為、途中離脱
	吉良 知夏	(神村学園高等部)
	嶋田 千秋	(日テレ・メーナ/東京都立東大和高等学校) ※体調不良の為、参加辞退
	下沖 楓	(ASエルフェン狭山FC/埼玉県立狭山清陵高等学校)
	齋藤あかね	(浦和レッズジュニアユースレディース/新座市立第三中学校)
	岩渕 真奈	(日テレ・メーナ/武蔵野市立第六中学校)

以上 24 名

21. 女子：公認C級コーチ養成講習会の件

目的：女性の公認C級コーチを養成し、女性指導者の地位向上並びにサッカーの普及・育成に広く貢献することを目的とする。

主催：(財)日本サッカー協会/日本女子サッカーリーグ

日程：2008年 1月21日(月)～25日(土) 4泊5日

会場：リコー東松山研修センター(埼玉県東松山市)

講師：眞藤 邦彦(技術委員・指導者養成チーフインストラクター)

今泉 守正(技術委員/女子委員・ナショナルトレセン女子担当チーフコーチ)

吉田 弘(ナショナルコーチングスタッフ・U-16日本女子代表監督)

受講資格：・日本女子サッカーリーグに加盟するクラブで活動する選手および女性指導者

・2007年3月31日で、18歳以上の方

・公認C級コーチの資格を保持しておらず、資格取得を希望する方

受講人数：30名程度（希望者多数の場合、日本女子代表選手の招集歴や1クラブからの人数等を考慮し、受講者を決定）

## 22. スーパー少女プロジェクト セレクションキャンプの件

行事名：スーパー少女プロジェクト セレクションキャンプ

期 間：2007年11月22日（木）～ 24日（土）

場 所：Jステップ（静岡県静岡市）

### [スケジュール]

11月22日（木） 集合 → フィジカル測定・トレーニング・ミーティング

23日（金） トレーニング・ミーティング

24日（土） トレーニング・ミーティング → 解散

### [スタッフ]

GKコーチ：西入 俊浩（（財）日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ／東京電力女子サッカー部マリーゼ）

GKコーチ：小林 忍（（財）日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ／JFAアカデミー福島）

GKコーチ：山邊 由美（京都市陽サッカークラブ女子アスール）

GKコーチ：西岡 恭子（岡山県作陽高等学校）

ドクター：土井 俊（菊川市立総合病院）※11/22-23

ドクター：土井 光人（協立十全病院）※11/23-24

総務：今関 葉子（（財）日本サッカー協会 技術部）

### [選手（GK）]

児玉璃梨香（福岡県：北九州市立湯川中学校）

谷岡 未来（山口県：大和撫子）

田河 葵（神奈川県：CCC FUTURE'S）

森 栞唯（徳島県：鳴門ポリスレディーズフットボールクラブ）

切畑 琴乃（三重県：伊賀フットボールクラブフライン）

三田一紗代（京都府：京都精華女子中学校）

奥村 悠貴（茨城県：つくばFC）

新垣 鈴奈（沖縄県：うないFC）

小川 晏奈（埼玉県：白岡町立白岡中学校）

河村 有紀（神奈川県：NPO横浜スポーツアソシエーションカルチャークラブコスモス）

石川 園夏（兵庫県：AGUA・FCレディーズ）

鈴木 悠里（静岡県：藤枝姉妹F.C）

柴宮 優希（埼玉県：浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディーズ）

花井 晶子（埼玉県：浦和本太レディーズFC）

漁 真美（愛知県：豊田レディーズフットボールクラブ）



本田 優 (千葉県：国府台女子学院)  
吉田 瑞菜 (北海道：REX F.C)  
原 久美子 (長崎県：佐世保市立早岐中学校)  
奥村 千晶 (茨城県：つくばFC)  
吉原 知里 (愛知県：名古屋FCレディース)  
向井 真衣 (岡山県：Belle Kids Football club)  
三宅由梨亜 (香川県：直島ジュニアサッカークラブ)  
伊東 夏菜 (大阪府：高槻北大冠 ZELCOVA FC)  
宮川真紗子 (山口県：下関女子サッカークラブ)  
染矢 海優 (熊本県：MELSA熊本フットボールクラブホニータ)  
犬飼 綾乃 (愛知県：名古屋FCレディース)  
木付 優衣 (愛媛県：石井サッカークラブ)

計27名